学校番号	３０２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新編 数学Ⅱ（実教出版）						
副教材等	スパイラル　数学Ⅱ　学習ノート　方程式・式と証明（実教出版） スパイラル　数学Ⅱ　学習ノート　図形と方程式（実教出版） スパイラル　数学Ⅱ　学習ノート　三角関数・指数関数・対数関数（実教出版） スパイラル　数学Ⅱ　学習ノート　微分法と積分法（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は反復練習が大切です。教科書の例や問、副教材の問題など、何度も同じ問題を解き、定着をはかることが重要です。

数学Ⅱという科目は、数学Ⅰに比べて学習内容が広く深くなります。しっかりと学習内容を定着させられるように、自宅でも復習をして授業に臨んでください。

学習をする中で、友人同士での教え合い学習を推奨します。内容の理解が進まない人は、積極的に質問し、理解が進んでいる人は、積極的に友人に教えてあげてください。この活動がそれぞれの理解を促進し、全体の理解度を高めてくれます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・いろいろな式,図形と方程式,指数関数・対数関数，三角関数および微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。 ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 ・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり,粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

1学期	式の計算	整式の乗法 二項定理 整式の除法 分数式	a：3 次式の乗法公式と因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 b：二項定理を利用して，等式を導くことができる。 c：分数式の四則計算について，分数の四則計算と関連付けて考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 パフォーマンス課題	提出ノート 振り返りシート
	複素数と方程式	複素数 ２次方程式 因数定理 高次方程式	a：数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすることができる。 b：解と係数の関係を利用して，やや複雑な 2 数を解とする 2 次方程式を考察することができる。 c：数を複素数まで拡張する意義を考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 パフォーマンス課題	提出ノート 振り返りシート
2学期	三角	一般角	a：角の概念を拡張する意義を理解し，一般角を理解する。	定期考査 確認テスト	定期考査	

	関数	弧度法 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式	b: ある加法定理から他の加法定理を導くことができる。 c: 三角関数について学んだことを，日常の事象の問題解決に生かそうとしている。		パフォーマンス課題	提出ノート 振り返りシート
3学期	微分係数と導関数	平均変化率と微分係数 導関数 接線の方程式 関数の増減と極大・極小 方程式・不等式への応用	a: 関数の定数倍や和および差の導関数について考察し，公式を利用して簡単な関数を微分することができる。 b: 学習したことを用いて曲線$y=f(x)$ 上にない点から曲線に引いた接線の方程式を求めることができる。 c: 微分法について学んだことを，日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 パフォーマンス課題	提出ノート 振り返りシート
	積分	不定積分 定積分 定積分と面積	a: 定積分について理解し，簡単な定積分の計算をすることができる。 b: 積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c: 定積分の学習を振り返り，考察を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 パフォーマンス課題	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度